

学校番号 15 長野西高等学校通信制課程 令和7年度 学校評価表

学校教育目標	中・長期目標
1 複雑な世界の理解に備え、将来の学習のための基礎を作る。 2 グローバル化する経済や社会において機能するためのスキルを身につける。 3 個人がそれぞれの知的・社会的な可能性を活かせる、バランスの取れた情緒と身体を育む。 4 個人や社会が平和的に共存できるよう、社会のあらゆるレベルで人権・民主主義・異文化理解と尊重・平和と人間関係に触れる。	1 学習指導の充実を図り、生徒の単位修得や卒業後の自立に向けた支援を行なう。 2 生徒一人一人を大切に生徒との信頼関係を構築すると共に、生徒相互の豊かな人間関係を深めるための支援を行なう。
	本年度の重点目標
	① 生徒の実態に合わせた学習指導の改善や工夫をすすめ、生徒の単位修得や卒業後の社会的な自立に向けた支援を行う。 ② 学習に困難を抱えている生徒一人一人に対して特別な援助を行う。 ③ 信友会活動などを通して、生徒同士が関わり合い、豊かな人間関係を結ぶ機会をつくりだし、社会に歩みだす自信と他者への信頼感を育む。 ④ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくり。

A：良くできている  
 B：まあまあできている  
 C：あまりできていない  
 D：できていない

対象	評価項目	評価の観点	A	B	C	D	感想や提言、要望など
学習指導	① 添削指導の充実	生徒の学力状況に合った適切なレポートの作成ができたか。また、一人一人の生徒の学習の励みになる添削指導ができたか。		○			学習効果を上げるために、素早いフィードバックを心がけている。自学自習が進むようなレポート作りを心がける。
	① 面接授業の充実	公開授業の交流等を通して、生徒の学習意欲を喚起し、レポート作成に役立つ面接授業ができたか。		○			ICT機器、視覚機器などを利用して発展的な授業展開に心がけた。対象の生徒の変化に応じて、面接形式を変え自身の充実を図った。
	② 特別な学習援助	学習に困難を抱えている生徒に対して、きめ細かな支援ができたか。		○			質問に来た生徒には丁寧な対応ができた。個人面接には柔軟に対応できた。但し、自分から質問も出せず、集団の中にも入ることが出来ず、レポートも進めず面接授業にも出られないという生徒に対して更なる特別な支援が必要である。
生活指導	全 学校生活や社会のマナー・ルールの遵守	問題行動に対し、全職員で情報共有をし、協力して指導にあたることができたか。		○			必要に応じて学年会を開き、情報・指導の共有に努めた。指導対象の生徒が週1回しか登校しないので指導の難しさを感じる。
	④ 基本的人権・生命を尊重する考え方の育成	いじめ、体罰を許さない安心・安全な環境づくりや人権教育を通して生徒に人権の大切さの理解を深めさせたか。 自殺予防教育等を通して、生命の大切さの理解を深めさせたか。		○			毎時間見回りを実施、5階への立ち入り禁止表示の設置をする等、安心・安全な環境づくりに努めた。人権教育をクラス毎に行った。いじめに関するアンケートを実施し、現状の把握に努めた。 通信情報で、生命の尊さについて伝えた。長野県における自殺の現状とその対策について職員研修を行った。
進路指導	① 生徒個々の進路目標実現に向けての支援と助言	生徒への情報伝達、職員間の情報伝達・情報共有など密に行うことができたか、生徒一人一人に対応した指導はできたか。	○				進路だよりを毎月発行し、生徒・保護者に情報提供を行っている。今後も紙面を工夫して進路指導に活用していきたい。
		ハローワーク長野・ハローワーク上田・ジョブカフェ信州・コミュニケーションアイなど外部組織と連携した通信制型の進路指導の推進ができたか。	○				ハローワーク長野などと連携し、生徒の進路指導を行っている。個々の生徒と丁寧に面談をして、希望に添った進路指導を進めていきたい。今年は外部機関と連携し就労支援に力を入れた。
信友会活動	③ 信友会本部委員会の力量の向上	信友会活動の意義を理解させ、役員生徒の力量を向上させるとともに、生徒が主体的に活動できるように支援できたか。	○				2月役員ミーティングをスタートとして本部委員の活動を計画通り実行することができた。顧問の事前準備や段取りは不可欠だが、行事を重ねることに主体的に活動しようという雰囲気が出てきた。人前で話せない、教室に入れないという役員も活動体験を通して「やればできる」という自信に繋がり、大きな成長が見られた。
	仲間づくりや自主的な活動への支援	多くの生徒が参加できる信友会行事や委員会活動・クラブ活動などを計画し、それらを通して生徒間の人間関係づくりや自主的な活動を支援できたか。	○				行事に向けて委員会活動を前向きに取り組むクラス役員も出てきた。また信友会行事に参加する生徒や役員希望の生徒も増えはじめ、活動への理解や関心・興味を指つようになってきた表れと感じる。昨年同様にクラブ活動で上位の大会に出場し好成績をおさめたり、弦月祭では積極的なクラブ練習や発表が見られた。
通信情報	全 紙面作成の技術向上と質の充実	必要な情報をわかりやすく編集し、発行後内容を検討して今後に生かすことができたか。		○			通信情報は学校と生徒、保護者との大切なつながりの役目を果たしている。今後とも内容の精選、見やすい形式を心掛けていきたい。より見やすい構成になるように工夫していきたい。
特 殊 別 後 支 援 課	② 個のニーズに応じた適切な学習支援	レポート作成に困難を抱える生徒やテストの不合格者に対し、的確な判断のうえに適切な個別指導がなされたか。	○				2学期制になりレポート指導もしやすくなったと思う。各教科で個人面接を丁寧に行い、単位取得につながった。配慮の必要な生徒には、適切な指導を心がけたい。
学校運営	全 職員間の協力・共同の推進	係会や委員会、教科会・学年会などを通して職員間の意思疎通が深められているか。		○			職員一丸となって対策できた。何か問題等あればすぐ集まり、話し合いが行われるような体制はとれている。
		的確な情報発信	ホームページや学校説明会などを通して、通信制高校の学習形態や本校の様子について理解してもらえるよう努めたか。		○		今年度の反省をふまえて、2学期制についてより一層の情報発信につとめていきたい。